11(5)　羅臼町

［所在地］
〒086−1892
目梨郡羅臼町栄町100番地83
TEL 0153−87−2111
FAX 0153−87−2916
ホームページアドレス
http://www.rausu-town.jp

●観光船とマッコウクジラ

［沿革］

町名羅臼はアイヌ語「ラウシ」（獣の骨のある所の意）から転化したもの。この地一帯はアイヌの狩猟の地であったためこの名が起こったという。

明治12年標津ほか６村戸長役場の管轄に属し、同34年これから分離して植別村戸長役場を設置、大正12年４月二級町村制施行、村名を植別村とした。昭和５年７月羅臼村と改称、同36年８月町制施行。

［基本計画等］

●羅臼町第８期総合計画　R6～R13
●羅臼町総合戦略　R3～R7

［概要・特色］

羅臼町は知床半島の南東側に位置しており、標高738mの知床横断道路頂上からは、高くそびえる羅臼岳の雄姿を望み、眼下には北方領土の国後島が横たわっています。

多くの観光資源に恵まれた町で、羅臼沿岸にはシャチやクジラなど海洋哺乳類が回遊し、日本でも屈指のホエールウォッチングを楽しむことができ、冬には流氷の訪れとともにオジロワシ・オオワシを観察することができます。また、熊の湯など温泉資源にも恵まれた町です。

道の駅「知床らうす」は、道路や観光情報等の発信基地として整備され、多くの方々に利用されています。

さらに「羅臼ビジターセンター」では、世界自然遺産に登録された知床の生態系をはく製や解説パネルでわかりやすく紹介しています。大画面で見るハイビジョン映像『知床・羅臼の四季』では、原生的な自然風景と野生動物の営みを見ることができます。

産業は漁業が中心で、秋サケ定置網漁やスケトウダラ漁、昆布漁など豊かな漁業の町でありますが、近年は資源が減少しており、資源安定のために各種増養殖に力を入れるとともに、海洋深層水を利用した新鮮で安心・安全な魚の流通を推進しているところであります。

平成17年に世界自然遺産に登録された「知床」に位置する羅臼町は、「人・まち・自然いきいき　未来創造　～魚の城下町らうす～」をまちづくりのテーマに掲げ、羅臼の特性を十分に活かし「魚」とともに生きる「人」「まち」「自然」が融合する理想郷となることを目指し、さらに羅臼町総合戦略に基づく人口減少問題に対応した地域創生のまちづくりを町民と協働して取り組んでいます。

●羅臼漁港と国後島

［イベント］

知床雪壁ウォーク　４月中旬
しれとこ羅臼こんぶフェスタ　７月中旬
知床らうす産業祭 羅来楽　９月下旬
クナシリ眺望駅伝競走大会　10月上旬
羅臼町総合文化祭　10月下旬～11月上旬
らうすオジロまつり　２月上旬

●秋サケ漁　荷揚げの様子

●ビジターセンター（シャチ）

特産品

●羅臼昆布　●昆布しょうゆ
●昆布だし　●昆布茶
●鮭　●ほっけ　●キンキ
●ウニ　●いくら
●たら　●たらこ　●鮭節